

8～9月の短茎小菊出荷拡大を推進

湖北農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

平成19年度から当課が推進している短茎小菊「プチマム」の生産拡大を湖北花き推進協議会（50名）に対して行いました。本年度は小菊の最需要期であり、高販売価格が期待できる8月のお盆から9月の彼岸に向けた出荷本数の拡大に取り組みました。

【普及活動の成果】

市場では黄色と赤色に需要ニーズがあることから、組み花加工に適した品種を推奨し、作付比率を黄色8：赤色2とすることで黄小菊を重点的に出荷するように働き掛けました。

出荷本数の拡大にあたっては、各戸の栽培面積の増加を促し、単位面積あたりの出荷本数を増加させるため、3条定植の推進を行いました。その結果、プチマム定植面積のうち、3条定植の実施率が73%となりました。

また、JAと連携して出荷見込み本数を市場へ情報提供するとともに、市場の評価や要望を生産者への確に伝えました。

これらの結果、前年比の2.2倍となる約19万本を出荷することができました。



会員同士がそれぞれのほ場を巡回し、技術研鑽に努めています。

